

重点項目	講習内容
<p><b>1章 電気法規の学習方法を学ぶ</b></p>	<p>① 第三種電気主任技術者の監督範囲からの出題範囲を理解する。</p> <p>② 第三種電気主任技術者の出題レベルから主題範囲を理解する。</p>
<p><b>2章 電気事業法とその他の関係法規を学ぶ</b></p> <p>2-1 電気事業法</p> <p>2-2 電気工事士法</p> <p>2-3 電気工事業法</p> <p>2-4 電気用品安全法</p>	<p>① 一般用・自家用電気工作物の定義、電気主任技術者の監督範囲、保安規程の内容、工事計画の届出などを理解する。</p> <p>② 電気工事士でなければできない作業などを理解する。</p> <p>③ 主任電気工事士の条件、営業所に備え付けておかなければならない測定機器など。</p> <p>④ 各種法の目的など。</p>
<p><b>3章 電気設備技術基準・解釈を学ぶ</b></p> <p>3-1 電路絶縁・接地の基本</p> <p>3-2 高低圧機器の施設方法</p> <p>3-3 発電所等の施設方法</p> <p>3-4 架空電線路の施設</p> <p>3-5 地中電線路の施設</p> <p>3-6 低圧屋内配線の施設方法</p>	<p>① 電路絶縁、絶縁耐力試験、接地の種類と施設方法などの基本を正確にマスターする。</p> <p>② 高圧機器の屋外の施設方法、避雷器の施設方法、過電流遮断器、地絡遮断装置の施設方法を確実にマスターする。</p> <p>③ 発電所等の施設について、高圧・特別高圧の離隔距離などポイントを確実にマスターする。</p> <p>④ 架空電線路の施設方法、建造物との離隔距離などを出題範囲に絞ってマスターする。</p> <p>⑤ 地中電線路の施設方法による埋設深さや他の工作物との離隔距離をマスターする。</p> <p>⑥ 高圧屋内配線の方法、危険物が存在する場所での施設方法などを中心にマスターする。</p>
<p><b>4章 施設管理を学ぶ</b></p> <p>4-1 高圧受電設備の事故防止</p> <p>4-2 高調波障害防止</p> <p>4-3 電圧調整</p>	<p>① 高圧受電設備について学ぶ。</p> <p>② 高調波の概要を学ぶ。</p> <p>③ 電圧調整について学ぶ。</p>

法規【2日目】平成28年2月21日（日）

重点項目	講習内容
<p><b>5章 計算演習（法規関係）</b></p> <p>5-1 計算問題の前提となる事項</p> <p>5-2 耐圧試験の計算</p> <p>5-3 接地抵抗値の計算</p> <p>5-4 支線の計算</p>	<p>① 計算問題の前提となる事項（最大使用電圧、中性点非接地式電路の電線延長・線路延長など）を確実にマスターする。</p> <p>② 耐圧試験の計算をマスターする。</p> <p>③ 接地抵抗値の計算をマスターする。</p> <p>④ 支線の計算をマスターする。</p>
<p><b>6章 百分率インピーダンス法の基礎</b></p> <p>6-1 百分率インピーダンスの容量換算と短絡電流計算手法</p>	<p>① 受験者が苦手な百分率インピーダンスの容量換算と短絡電流計算手法を学ぶ。</p>
<p><b>7章 電気施設管理を学ぶ</b></p> <p>7-1 水力発電所の運用計算</p> <p>7-2 電線路の電圧降下特性計算</p> <p>7-3 力率改善計算</p> <p>7-4 変圧器の効率・運転計算</p>	<p>① 調整池式発電所の運用計算をマスターする。</p> <p>② 電圧降下の特性計算をマスターする。</p> <p>③ 力率改善（コンデンサ容量、変圧器の増設など）計算をマスターする。</p> <p>④ 変圧器の効率、経済効果運転（最小損失での運転方法）計算の方法をマスターする。</p>